

地域経済情報研究所  
2016年7月研究会

「コミュニケーション能力を高める  
グループワークについて」

経営学部 森 享子

備考 社会に出るまでに高めておきたい  
就業力12(=8+4) 高松大学経営学部

1. コミュニケーション力・ディスカッション力
2. 自己理解力
3. クリティカル思考・調査能力・コンセプチュアルスキル(問題発見・提案)
4. プレゼンテーション力
5. 国際理解・多文化理解力
6. 外国語運用力
7. ICTリテラシー
8. 数量把握力・会計情報把握力

大学で特に高めたい就業力

能力	3つ選択(%)	1位のみ(%)
1. コミュニケーション能力	90.0	69.4
1.1 ディスカッション能力	19.2	6.1
2. 自己理解能力	47.4	6.1
3. クリティカル思考	15.0	2.0
3.1 調査能力	12.9	2.0
3.2 コンセプチュアルスキル	19.2	0
4. プレゼンテーション能力	40.8	4.1
5. 国際理解・多文化理解能力	4.2	0
6. 外国語運用能力	17.1	2.0
7. ICTリテラシー	17.1	2.0
8. 数量把握力	12.9	4.1
8.1 会計情報把握能力	4.2	0

ビジネス実務概論Ⅱ(2016.4.19)でのアンケート調査結果(回答学生数49名)

2016キャリア開発

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 **グループワークいま気になっていること**
- 第3回 グループワーク 私は誰(Who am I?)
- 第4回 グループワーク モチベーションは何?(燃える時と燃えない時)
- 第5回 グループワーク ライフライン分析(これまでの自分を振り返る)
- 第6回 グループワーク ライフロール(これまでとこれからの役割)
- 第7回 **グループワークキャリアアンカーの8つのカテゴリー**
- 第8回 グループワーク キャリアアンカーものがたり(自己PR)
- 第9回 グループワーク 好きな役割(自分のパーソナリティーを知る)
- 第10回 グループワーク 自分が持っているモットー(自動思考の意思決定)
- 第11回 グループワーク 私の価値観(好き嫌いで選ぶ)
- 第12回 グループワーク リフレーミング(自分の弱みを強みに変える)
- 第13回 グループワーク なりたい自分キャリアパス人生設計(未来の自分を考える)
- 第14回 グループワーク 始める一歩(時間管理・行動計画を立てる)
- 第15回 まとめ(これまでの講義の復習及び質疑応答) 期末レポート提出

2016キャリア開発  
第二回授業

ワークのテーマ  
「今気になっていること」

1. 「キャリア開発」とは・・・  
授業の内容を理解させる

キャリア開発は、あなたの潜在する資産を増やすこと

- ・ 眠っている自分の能力(資産)に気づいて、開花させ、それを幸せになるために役立てること
- ・ 自分を過小評価しない 自分をディスカウントしない 自分をごまかさない
- ・ できるやれる力はあることに気づいてほしい

## 1-2 自分の人生を考える授業

- 自分を知る 自分を見つめる 自己探索
- 自分の強みを知る
- **自分の強みを生かした仕事で、自分にしかできないことをみつける**
- 自分の人生を幸せなものにするために、自分自身と真剣に向き合う
- 最初からできるわけではないので練習が必要



## 1-3 幸せな人生をおくるために

- あなたは素晴らしい可能性と能力を持っています。**できないではありません。方法を知らないだけです。**自分の能力を知らないで気がついてないだけなのです。
- 誰も自分の人生の責任を取ってはくれません。自分の人生を幸せにするのは、自分だけです。親でも伴侶でもない・・・。
- この授業は幸せな人生を送るための自分探しです。



## 1-4 授業の内容

- 自己理解を促すワークが多い
- 自分の過去・現在・未来を考える
- **自分のことを話す・書く**
- 人の意見を聴く
- **他人との関係構築・チームワークが重要**
- グループディスカッションに参加
- 社会に出て役立つ訓練



## 2. 始める前の準備 「お約束」

- トイレは授業が始まる前に、調子の悪い人は自己申請してください
- 遅刻者は終了後に申告しないと欠席扱いです
- 欠席すると、貢献度・積極性・宿題・ミニレポートの加点ができません。
- **ケータイはカバンの中にしまう**
- **グループの役割分担に責任を持つ**
- ディスカッションと聴くときのけじめをつける

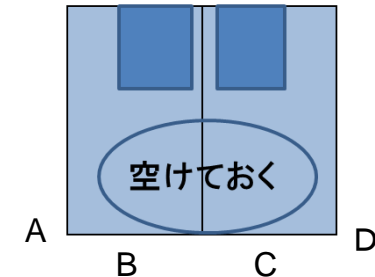


## 2-2 グループで話すときの約束

- 全員が話す
- **席を机のコの字に座る(パソコンを避ける)**
- **私物は下に置く ケータイは触らない**
- 時間配分 (早く終わらない 長くならない)
- 聞いたことは、ここだけの話でとどめておく
- **いいところやプラスに焦点をあてる**
- **相手が元気になるようなコメントをする**
- 相手を尊重する態度で、話す、聞く
- 協力する 助け合う 配慮する



## 教壇





### 3. 社会に出て必要なスキル

- 笑顔
- あいさつ
- ほめる(関係構築 相手を観察していいところを見つける)
- 相手の話を聴く
  
- コミュニケーション能力は生きていく上で一番必要なスキル 話が上手下手は関係ない

### 3-2 笑顔のスキルの重要性

- 笑顔は万能なスキル
  - 成功者は初対面で必ず笑顔を忘れない
- 1 美人・イケメンになる
  - 2 自分も相手も喜んで、リラックスできる
  - 3 相手を受け入れるサイン
  - 4 相手に幸せをもたらすプラスのエネルギー
  - 5 相手に敵意がないことを示す

### 3-3 第二回授業での「笑顔の事例」

- マッコーネル曰く

「笑顔は人間の最も大切な「○○」」

しかめっ面は精神的「○○」

「笑顔は人間の最も大切な**「資産」**」

しかめっ面は精神的**「汚染」**」

普通の顔はしかめっ面になるので汚染される  
意識して笑顔にすると資産が増える

### 3-4. 挨拶の力

- あいさつはキッカケ作り・どう使いこなすか
  - 初対面にどう話しかけていいかわからない時  
あいさつが有効です。
  - あいさつは、知らない相手と簡単に親しくなれる魔法の言葉
- 1 あいさつは先にしたほうが有利 余裕
  - 2 あいさつをすると好感度アップ
  - 3 あいさつを続けることによって信頼度が増す

### 3-5 毎朝、会う人に挨拶を続けることの重要性

- あいさつは自分のためにする
  - 挨拶をしても無視されてときはどうする??
- 相手は無視したのではなく照れているだけ  
相手の方が未熟であることを認識しよう  
挨拶できない友人より挨拶している自分のほうが大人だということを誇りにしよう
- 無視された時はそっとしておく やり過ごすこと  
無視されても自分から挨拶を続けよう  
相手を育てる感覚



### 3-6 挨拶からコミュニケーションへ

- あいさつを返してくれる人には、もう一声かけよう
- お天気や気候の話をするのがよい  
「いいお天気ね」「今日は寒いね」「あったかくなってきたね」「今日は気持ちがイイね」・・・など
- あいさつを返してくれる人には、アイコンタクトをして、笑顔で話そう



### 3-7 笑顔からコミュニケーションへ

- 1. 笑顔のスキルの重要性
- 2. 毎朝、会う人に挨拶を続けることの重要性
- 3. 挨拶からコミュニケーションへ



## 4. アイスブレイキングの重要性

1. 話しやすくする
2. モチベーションを上げる
3. 仲間との一体感(チームワーク、団結力)を高める



### 4-1 アイスブレイキングその1 グループであと出しじゃんけん

- 4人でジャンケンをします。
  - 勝った人がAの席に座ります。
  - もう一度こんどはあと出しジャンケンをします。  
。Aが勝つようにBCDはあと出で負けてください。
- 終わったら拍手！ (制限時間1分)



### 4-2 アイスブレイキングその2 3本締め

手拍子

- ぱばぱん ぱばぱん ぱばぱんぱん  
1 2 3 1 2 3 1 2 3 4
- 2回
- 3回
- 連打拍手~~~~~



### 4-3 アイスブレイキングその3 笑顔であいさつ

アイコンタクトの練習 グループ全員と挨拶  
「私の名前は〇〇です。〇〇出身です」と  
お互いに名前を言って簡単な自己紹介  
笑顔で相手を見る  
アイコンタクト  
握手する  
名前を呼ぶ  
〇〇さん、おはよう！ (制限時間2分)

### 4-4 アイスブレイキング その4 名前でダイアログ(対話)

- 一人ずつ自分の名前に関する話をして自己紹介 2分
- 交代してもう一度 2分
- ふりかえり・・・ふたりで話したことの感想、感じたことを言う 1分
- 例が必要 たとえばこんな話
- 場の様子でグループで他己紹介してもよい

### 4-5 アイスブレイキング その5 (グループで)質問ゲーム

グループでAが親になり、Bから順にAに質問をする。先に自分の答えを言う事。  
Aは答えたくないときはパスと言う  
全員の質問が終わったら次にBが親になり順に質問を受ける

質問の例:「私はスポーツは野球が好きですが、あなたは何が好き??」  
「食べ物の中では何が一番好きですか?? 私は〇〇です」

### 4-5 アイスブレイキングその5 質問の例

- 好きなたべもの
- 好きな本 よく読む本
- 好きな番組 よく見る番組
- 好きな音楽 好きな曲
- 好きな芸能人
- 好きなスポーツ
- 好きな場所
- 好きな遊び

### 4-6 アイスブレイキングの ふりかえり

- Aさんから順に今までの自己紹介ゲームの感想を一言ずつ話す
- ひとり30秒～60秒
- 全員が話し終わったら全員で拍手

### 5. キャリア開発の授業に対する 目標設定

- この15回の授業で・・・
  - どんなことを学びたい?
  - 何を期待する??
  - 何ができるようにになりたい?
  - どんな自分になりたい??
- 上からひとつ選んでCさんからひとりずつ発表  
終わったら拍手

## 5-2 第二回授業の到達目標

- **グループの仲間を知る**
- ディスカッションとは何かがわかる
- ディスカッションの時にはいくつかの役割を各自が分担する(内容がわかる)



## 6. 「ワークブック1」の記入

- 第二回テーマ「いま、気になっていること」を演習帳p2～p4に書く
- 記入時間3分
- p2～p4が終わった人は、ワークブックp8～p19に目を通しておく



## 6-2 第二回ワークのテーマ 「いま気になっていること」の発表

1. 演習帳に書いてきたことをAから一人ずつグループの中で発表する …3分

次のディスカッションではこの上記の発表に対する各自の意見を言う



## 6-3 ディスカッションの準備 役割分担について

1. **書記**…メンバーの意見をもれなく書く
  2. **進行**…発言を促す まとめ役
  3. **発表者**…書記が書いてまとめたものを読む
  4. **司会**…メンバーに意見を聴く まとめる
- (5.タイムキーパー…時間配分 司会進行補佐)

A-書記 B-進行 C-発表 D-司会



## 6-4 ディスカッションの進め方

1. 司会はAから順に**意見(感想)を聴く**
2. 書記は**意見(感想)を書く**
3. 出た**意見(感想)の共通点**を探す(※書いたものではない)自由に発言する
4. 全員でグループの意見として**まとめる**
5. まとまったグループから手を挙げて**発表**する



## 6-5 意見・感想とは何を言うのか？

ほかの人の発言を聞いて、自分自身が思ったこと よかったこと 感じたこと わかったこと 発見したこと 考えたこと 自分の内面  
自分にとって役に立つことなど  
**基本何を言ってもOK 批判はNG プラスの発言**  
発表している時に、相手の言うことをよく聴いておくこと。 **そして自分の心の変化に集中する**

上記を説明後ディスカッションの開始



## 6-6 グループ代表による発表のさせ方

- 発表したグループには加算
- 発表者は書記のまとめたものを読む

例

「（名前を言う）私たちのグループでは、  
\*\*\*\*\*な意見やOOOOな意見が出ました。  
共通点は#####だったことです。  
わかったことは\*\*\*\*\*ということです」



## 6-7 グループごとのふりかえり

今回の授業で自分が...

- 感じたこと(感情的)
- 考えたこと(思考的)
- よくできた点(事実)
- よかった内容、プラスになった内容



## 6-8 振り返りミニレポートの書き方

よかったこと・心に残ったこと・プラスになったこと...を具体的に書く 半分以下は0点注意

- こう思った。なぜなら... その理由は...  
なぜそう思ったのか？何があったから？
- そこから考えたこと・発見したことは...  
これが大事・こうありたい・目標・課題
- そのためには何が必要？なにをする？  
今日から自分にできること 小さいことから

注※授業の内容を書くものではありません



## 6-9 次回までの宿題

次回ワークブック「マイエンブレム」を

演習帳に記入してくる

作業の進め方を見ながら書いてきてください。



キャリア開発  
2016

第7講  
キャリアアンカー



## 7. 今日のワークブック

ワーク9 キャリアアンカー

ワークブック54p 「8人のタイプ」を  
読んで共感できたのは誰か??

1. 共感したところに下線を引く
2. 58pを参考に演習帳25p26pに書き込む



## 7-2 この「キャリア開発」授業の目的

- コミュニケーション能力を養う
- ↓
- 誰とでも仲良くできるように
- ↓
- 大学生活を楽しめるように
- ↓
- 自分の仕事を楽しめるように
- ↓
- 自分の人生を幸せなものに



## 7-3 心構え 失敗は成功のもと

- できるだけたくさん失敗してみよう！
- やらないより、やって失敗したほうがいい
- 後悔するのは失敗ではなくやらなかったこと
- 失敗などない、学びがあるだけ
- 失敗だと思わなければ、それは失敗ではない
- 失敗は成功の途中過程
- 失敗するほうがおもしろい！？
- 失敗の場数を踏むこと



## 7-4 心構え 自分を高く評価しよう

- できないと言わない できるフリをする
- なまけ心に負けない **メンバーにも影響する**
- 自分の機嫌をとる 自分を励ます
- 自分を大切にすること…
  1. 自分の身体
  2. 自分の気持ち
  3. 自分の人生



## 7-5 再び 内的キャリア

- **自分の生きがい・やりがいなどが内的キャリア**
- 人間はやられるのが嫌いです
- 自分から進んで好きなことをすることには抵抗やストレスを感じません。
- 面白いと思ったことを調べたり、興味があることについて勉強することは楽しく感じます
- 将来、仕事をする上で、自分のいるところを楽しむのは、内的キャリアです。
- **自分の内的キャリアを見つけることは幸せな人生につながります。**



## 8. アイスブレイキング その1 チームで自己紹介

1. こう見えて〇〇〇の名前\_\_\_\_\_です。
2. 〇〇〇の名前\_\_のとなりの、こう見えて◆◆の名前\_\_です。
3. 〇〇〇の名前\_\_のとなりの◆◆◆の名前\_\_のとなりの、こう見えて□□□の名前\_\_です
4. 〇〇〇の名前\_\_のとなりの◆◆◆の名前\_\_のとなりの、\_\_名前\_\_のとなりの、こう見えて□□□の名前\_\_です
5. くりかえす **わからなくなったら助け合います**



## 8-2 アイスブレイキング その2 共通点探し(グループ)

- グループで全員が好きなものをさがして、共通点を2個さがします





### 8-3 アイスブレイキング その3

共通点を2こを合わせてグループ名にする

- 自分たちのグループに名前をつけよう
- 例
- お茶と自転車がすき、の共通点
- じてんちゃ チーム
- チーム チャリティー



### 8-4 アイスブレイキング その4 3 本締め

手拍子

- ぱばぱん ぱばぱん ぱばぱんぱん  
1 2 3 1 2 3 1 2 3 4
- 2回
- 3回
- 連打拍手~~~~~



### 8-5 アイスブレイキング その5 チーム力を上げるハートビート (団結力を養う、一体感が増す効果)

まず見本を見せる

1. 手を叩くパン 1回 相手と合わせてパン 1回
2. 手を叩くパン1回 相手とパンパン 2回
3. 手を叩く1回 相手と 3回
4. 手を叩く1回 相手と 4回
5. 手を叩く1回 相手と 5回



### 8-5 ハートビート 折り返し

6. 手を叩く1回 相手と4回
7. 手を叩く1回 相手と3回
8. 手を叩く1回 相手と2回
9. 手を叩く1回 相手と1回
10. 相手と連打 パチパチパチパチパチパチ  
イエーイ!!

次はグループ4人でハートビート  
全員で一緒にする 2回目は早くする



### 8-6 アイスブレイキング その6 モチベーションコール

#### 5 GOコール

- 全員で一斉にやります。  
全員で右手を前に出す
- 全員の手のひらを重ねる
- 全員で掛け声を言う
- 1.2.3.4. GO~!
- GO! で右手を上高く上げる



### 9. リーダーの育て方①

ケータイで遊んだりしてグループから離れている人は、わからなくなっていることが多い。

演習帳を見せてあげたり、書いてあげたりして  
助けてあげよう。

1. 今、何をしているのかを確認する
2. どこまで進んだかを確認
3. 自分の意見を言って、相手の意見を聞く
4. これまでの話を繰り返して簡単にまとめる



## 9-2 リーダーの育て方②

- ディスカッション中に話がそれてテーマとちがう話になったら？・・・「あれ、どこまで話したわけ？」「ちょっとまって、わからなくなった」
- 一人が違うグループと話し始めたら？・・・後ろを向かれたら？・・・ケータイをいじりだしたら？・・・「えーと、私はこう思うけどあなたはどうか？」「いま、ここのことやってるから」
- 仲間をまとめるには？・・・今までとどこまでをもう一度整理して話して、ここまでは大丈夫？と聞く。

## 10. まとめ その1 ミュニケーション力を上げるグループワークに必要なこと

1. 場の配置 座る位置は重要  
お互いの顔が見える グループ内で近い距離
2. 机の上にさえぎるものを置かない  
カバンは足元に置く ケータイはカバンの中に
3. 声を出させる 出欠 あいさつ 音読 質問など
4. ワイヤレスマイクで机間巡視して、議論を活性化
5. 学生のレベルに合わせること。  
毎回、反応を見ながら、その場に合ったものにするために、レベルを上げたり下げたりして試してみる。

## 10-2 まとめ その2

6. アイスブレイキングは毎回短いのを2～3回簡単なものを具体的に説明し、やってみせ、表示もして、読んだらできるようにしておく。  
教員対学生→ 学生二人組→ グループ全体
7. 安心安全の場だということを認識させる。何を言っても批判されないこと。間違ってもいいこと。正解はないこと、など。否定しない、茶化さないことなどをあらかじめ約束させる。必ず拍手をさせる。拍手は脳が承認されたと感じる。

## 10-3 まとめ その3

8. グループで話す内容を、具体的に事例を挙げて、ヒントも出し、言い方の言葉もセリフで表示して、発表も声を出さず練習で、失敗は今しておこうと勧める。何度も同じことを繰り返して伝える。
9. 発表はどんな内容もほめる。そして発表内容をまとめて言い換えてあげる。ほめることを探す
10. 私語をしたり、ケータイを触っている学生には質問をする。質問は、答えが書いてあるわかりやすいものにする。恥をかかさないようにして、答えられたらすかさずほめることで前向きになる。

• ご清聴ありがとうございました

高松大学経営学部 森きょうこ